

『学びを紡いでいく児童の育成』を目指して

研究主任 星 智巳

駕籠町小学校では、学校の教育目標及び校長の学校経営方針を踏まえて、児童に確かな学力を育成するために以下のような授業実践を積み重ね、児童がより深い学びに向かうことができるよう、絶え間ない授業改善を行っています。

- 1 確実な見取りの積み重ねと評価 (ねらいを明確にした授業実践と、学びの過程における児童の変容の記録)
- 2 問題解決に向かう学級づくり
(児童が自ら課題を設定し、解決する意味や価値を見出すことができる学びの場づくり)
- 3 指導形態の工夫 (目的を明確にした交流の場の設定と、交流の場における学びの成果と課題の把握)
- 4 個の学びと集団の学びのバランス
(年間のカリキュラムを見通した個別最適な学び・協働的な学びと授業改善)
- 5 自己の学びに向き合う力の形成
(学習の進め方を自ら調整していくことができるような、発達の段階に配慮をした指導・助言)

令和3年度より「学びを紡いでいく児童の育成」を研究主題として、研究を進めております。今年度は、昨年度よりも研究の幅を広げ、理科・音楽科・図画工作科・生活科の研究授業における、他者との関わりから自らの学びを深める「協働的な学び」に重点をおいて、議論を深めております。継続して研究を行ってきたことで、児童が思いや願いをもって学習に向き合う姿が見られるようになったり、自ら課題を立て、見通しをもって学習に取り組む姿が見られるようになったりしています。今年度も、児童の学ぶ姿をつぶさに見取り、児童の思いや願いを大切にしたい研究を進めて参ります。

運動会に向けて、全力！

体育主任 南雲 瑠那

『最後まで ともにかがやく 運動会！』のスローガンのもと、子どもたち一人一人が運動会に向けて練習を重ねました。全校競技の大玉送りでは、勝敗に関わらず、全力で運動することの気持ちよさや応援し合うことの素晴らしさを感じることができました。各学年の発表練習では、それぞれが自分のめあてを達成するためにどう取り組むかを考えながら取り組みました。保護者の皆様には、当日までの子どもたちの体調管理等ご協力いただき、ありがとうございました。

